

三菱UFJ バランス・イノベーション (株式抑制型)

愛称：ファーストラップ（ささえ）

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2019年3月26日～2020年3月25日

第 7 期 決算日：2020年3月25日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、日本を含む世界各国の株式、公社債および短期金融資産を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得および利子・配当等収益の確保をめざして運用を行うことを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第7期末 (2020年3月25日)

基準価額	11,015円
純資産総額	28,457百万円
騰落率	-1.8%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第7期：2019年3月26日～2020年3月25日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第7期首	11,215円
第7期末	11,015円
既払分配金	0円
騰落率	-1.8%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.8%の下落となりました。

▶ 基準価額の変動要因

下落要因

国内株式の下落などがマイナスに影響しました。

2019年3月26日～2020年3月25日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	159	1.417	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(92)	(0.817)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(61)	(0.545)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(0)	(0.000)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.004	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.004)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.008	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.004)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	160	1.430	

期中の平均基準価額は、11,235円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

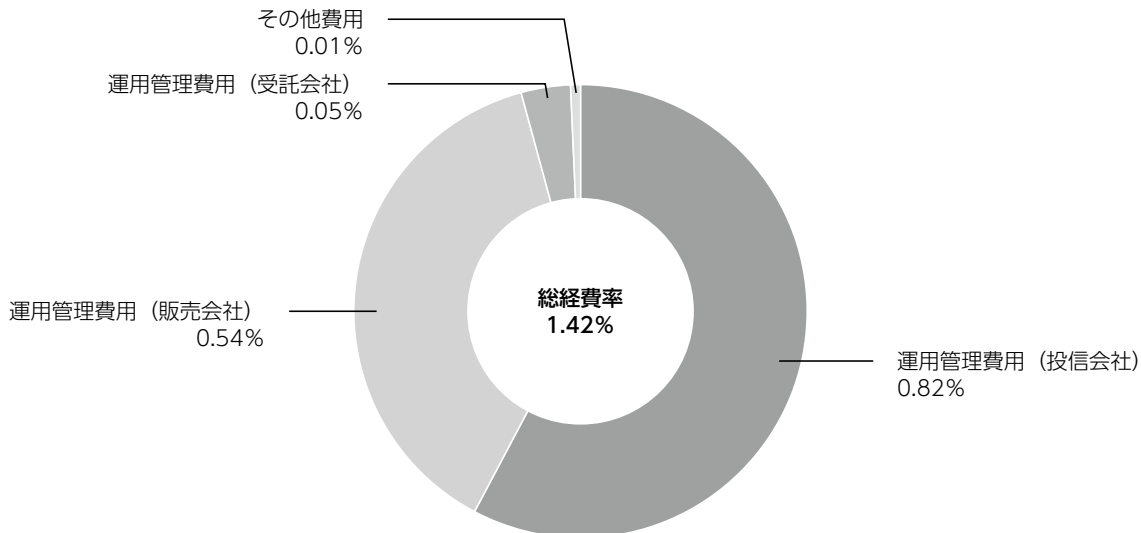
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.42%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2015年3月25日～2020年3月25日

最近5年間の基準価額等の推移について



最近5年間の年間騰落率

	2015/3/25 期初	2016/3/25 決算日	2017/3/27 決算日	2018/3/26 決算日	2019/3/25 決算日	2020/3/25 決算日
基準価額 (円)	11,001	10,915	10,781	11,124	11,215	11,015
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	-0.8	-1.2	3.2	0.8	-1.8
純資産総額 (百万円)	21,743	52,322	46,411	27,872	30,377	28,457

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

▶ 投資環境について

【株式】

日本を含む先進国株式市況は下落しました。期首から2020年2月中旬までは堅調に推移したものの、その後は期末にかけて新型肺炎の感染拡大を受け、世界的な実体経済停滞に対する懸念が高まったことなどを背景に下落し、期を通しては下落しました。

【債券】

海外先進国の債券利回りは低下しました。期首から2020年3月上旬にかけては、欧米の中央銀行による金融緩和姿勢や、新型肺炎の感染拡大による世界的な実体経済停滞に対する懸念が高まったことなどを背景に利下げ期待が高まったことなどから低下しました。その後、期末にかけて上昇する局面があったものの、期を通しては低下しました。

日本の債券利回りは上昇しました。期首から2020年3月上旬にかけては、米中通商協議の進展期待などが上昇要因となった一方、海外先進国の債券利回りの低下や新型肺炎の感染拡大による世界的な実体経済停滞に対する懸念が高まったことなどを背景に、利下げ期待が高まったことなどが低下要因となりました。その後期末にかけては上昇し、期を通しては小幅に上昇しました。

【為替】

米ドルは、2020年3月上旬にかけては米国の金利が日本の金利に対して相対的に大きく低下したことや、新型肺炎の感染拡大に対する懸念から投資家のリスク回避姿勢が高まったことなどから、円に対して下落したものの、その後期末にかけては上昇し、期を通しては米ドルは円に対して上昇しました。

ユーロは、欧州の金利が日本の金利に対して相対的に大きく低下したことや、新型肺炎の感染拡大に対する懸念から投資家のリスク回避姿勢が高まったことなどから、円に対して下落しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

マザーファンドへの投資を通じて、国内および先進国の株式、債券および短期金融資産に実質的な投資を行いました。

三菱UFJ信託銀行株式会社の投資助言・情報提供に基づき、各マザーファンドを組み入れた運用を行いました。

株式の組入比率については、投資環境や株式部分の収益寄与に基づいて決定する「株式ウエイトマトリクス」(※「目論見書」運用方法・運用プロセスをご参照ください)を活用しています。

株式部分以外への投資については、先進国債券に一定の比率で投資を行い、残りは国内債券等に投資しました。

なお、国内外の債券市場が下落した場合等に債券の組入比率を引き下げ、マネー・マーケット・マザーファンド等への投資を行う場合がありますが、当期は債券の代わりとしてマネー・マーケット・マザーファンドを組入れることはありませんでした。

各資産の組入比率は以下の範囲で変動します。

国内株式 (TOPIXマザーファンド)

0.0%~22.0%

先進国株式 (外国株式インデックスマザーファンド)

0.0%~22.0%

国内債券 (日本債券インデックスマザーファンド)

0.0%~51.0%

先進国債券 (ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド)

0.0%~25.0%

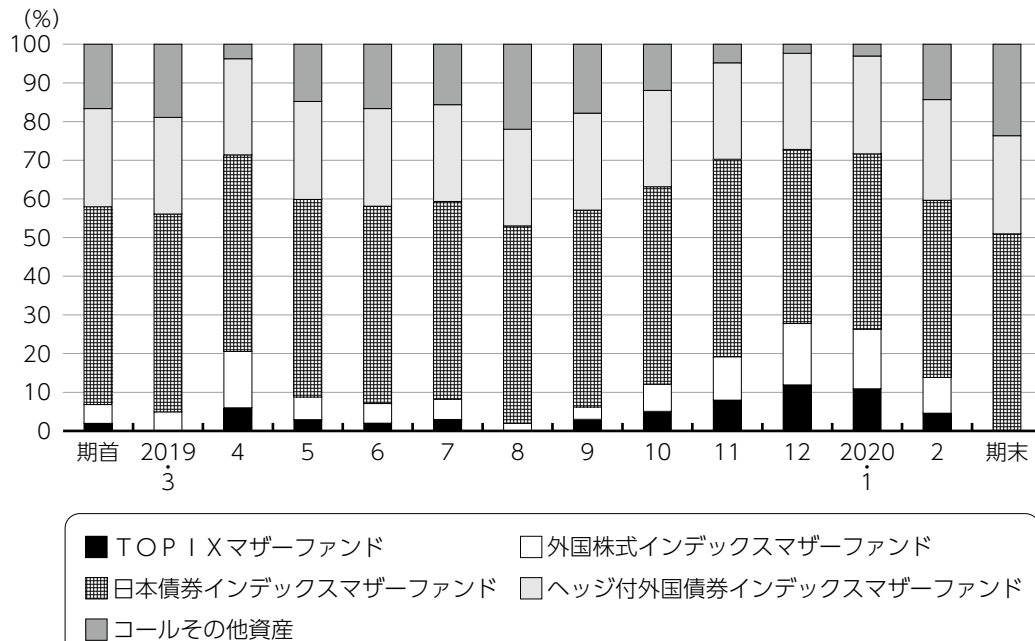
(原則、25.0%固定とします。)

実質組入外貨建資産のうち債券部分については、原則として為替変動リスクの低減をめざして為替ヘッジを行いました。その他の実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんでした。

期初は、先進国株式を組入れ、国内株式の組入れは抑制していました。2019年4月の初めに「投資環境」の改善などを受け、国内株式の組み入れを再開しました。その後、10月下旬にかけて、国内株式、先進国株式の組み入れを行わない、もしくは概ね低水準での組み入れを行いました。11月の初めから2020年2月中旬にかけては、「投資環境」の改善や「株式部分の収益寄与」が上昇したことなどを受け、国内株式と先進国株式の組み入れを引き上げました。しかし、2月下旬から3月初めにかけて「投資環境」や「株式部分の収益寄与」が悪化したことなどを受け、国内株式、先進国株式の組入比率を0%に引き下げ、期末まで組入れを0%で維持しました。

(ご参考)

■資産別組入比率の推移 (月末ベース)



▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第7期 2019年3月26日～2020年3月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	- (-%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,015

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

各マザーファンドへの投資を通じて、国内および先進国の株式、債券および短期金融資産に実質的な投資を行います。

三菱UFJ信託銀行の投資助言・情報提供に基づいた運用を行います。

株式の組入比率については、投資環境や株式部分の収益寄与に基づいて決定する「株式ウエイトマトリクス」を活用します。

株式部分以外への投資については、先進国債券に一定の比率で投資を行い、残りは国内債券等に投資します。

なお、国内外の債券市場が下落した場合等に債券の組入比率を引き下げ、マネー・マーケット・マザーファンド等への投資を行う場合があります。

実質組入外貨建資産のうち債券部分については、原則として為替変動リスクの低減をめざして為替ヘッジを行います。その他の実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

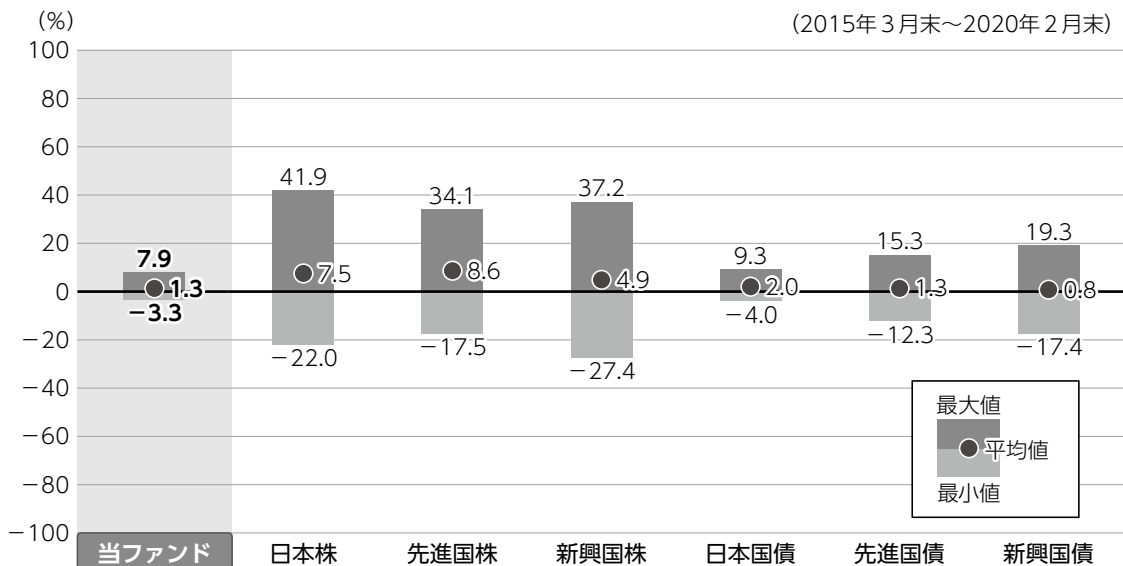
- ・株式等を組み入れるマザーファンドにおいて、ベンチマーク等を「配当落ち指数」から「配当込み指数」に変更しました。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2023年3月24日まで (2013年10月25日設定)
運用方針	<p>各マザーファンド受益証券等への投資を通じて、値上がり益の獲得および利子・配当等収益の確保をめざします。株式の実質組入比率は、株式組入れを比較的抑えつつ、相場の局面判断や株式の収益率等に基づいて決定します。債券の実質組入比率は、原則として、先進国債券を一定の比率とし、残りの部分は国内債券等を組入れます。国内外の債券市場が下落した場合等に債券の実質組入比率を引き下げ、マネー・マーケット・マザーファンド等の組入れを行う場合があります。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産のうち債券部分については、原則として為替変動リスクの低減をめざして為替ヘッジを行います。その他の実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。三菱UFJ信託銀行株式会社の投資助言・情報提供に基づき、ファンドの運用を行います。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド TOPIXマザーファンド受益証券、外国株式インデックスマザーファンド受益証券、日本債券インデックスマザーファンド受益証券、ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド受益証券およびマネー・マーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■TOPIXマザーファンド 東京証券取引所第一部に上場されている株式を主要投資対象とします。</p> <p>■外国株式インデックスマザーファンド MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に採用されている株式を主要投資対象とします。</p> <p>■日本債券インデックスマザーファンド NOMURA-BPI総合に採用されている公社債を主要投資対象とします。</p> <p>■ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド 日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。</p> <p>■マネー・マーケット・マザーファンド わが国の公社債等を主要投資対象とします。</p>
運用方法	<p>日本を含む世界各国の株式、公社債および短期金融資産を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得および利子・配当等収益の確保をめざします。</p>
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>（分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。））</p>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2015年3月から2020年2月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2020年3月25日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第7期末 2020年3月25日
日本債券インデックスマザーファンド	51.0%
ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド	25.4%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各マザーファンドの評価額の割合です。

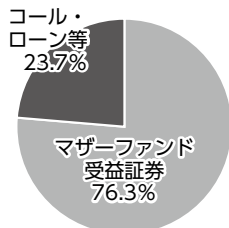
純資産等

項目	第7期末 2020年3月25日
純資産総額 (円)	28,457,787,754
受益権口数 (口)	25,834,610,099
1万口当たり基準価額 (円)	11,015

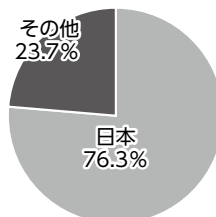
※当期中において追加設定元本は1,987,264,985円
同解約元本は 3,238,817,169円です。

種別構成等

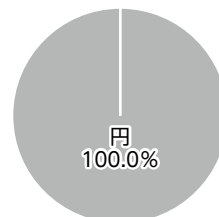
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

968374

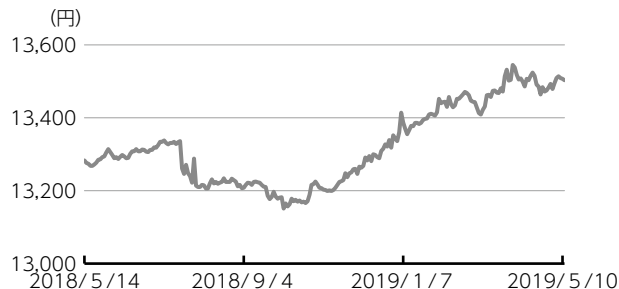
2019年5月13日現在

組入上位ファンドの概要

日本債券インデックスマザーファンド

基準価額の推移

2018年5月14日～2019年5月13日



1万口当たりの費用明細

2018年5月15日～2019年5月13日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0	0.000
(b) その他費用 (その他)	0	0.000
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、13,322円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：914銘柄)

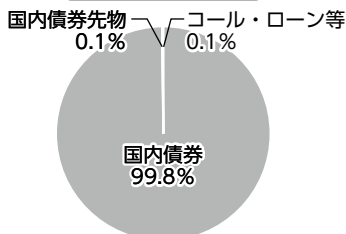
	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	第138回利付国債 (5年)	債券	日本	国債	1.3
2	第351回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	1.3
3	第312回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	1.2
4	第350回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	1.1
5	第333回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	1.1
6	第352回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	1.1
7	第329回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	1.0
8	第148回利付国債 (20年)	債券	日本	国債	0.9
9	第348回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	0.9
10	第353回利付国債 (10年)	債券	日本	国債	0.9

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

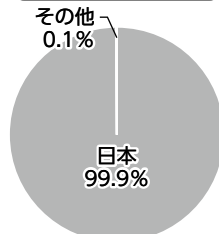
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

種別構成等

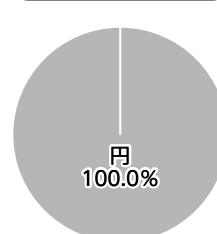
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等 (国内外) を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

290460

2020年1月27日現在

組入上位ファンドの概要

ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド

基準価額の推移

2019年1月28日～2020年1月27日



1万口当たりの費用明細

2019年1月29日～2020年1月27日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) その他費用	1	0.011
（保管費用）	(1)	(0.010)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	1	0.011

期中の平均基準価額は、13,234円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：570銘柄)

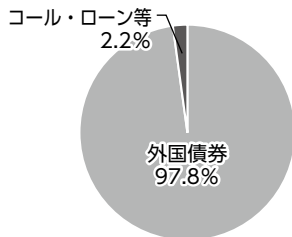
順位	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	6.125 T-BOND 271115	債券	アメリカ	国債	0.8
2	2.75 T-NOTE 210815	債券	アメリカ	国債	0.8
3	3.125 T-NOTE 281115	債券	アメリカ	国債	0.8
4	3.375 T-BOND 440515	債券	アメリカ	国債	0.8
5	1.125 T-NOTE 210630	債券	アメリカ	国債	0.7
6	2.75 T-NOTE 240215	債券	アメリカ	国債	0.7
7	2.625 T-NOTE 210515	債券	アメリカ	国債	0.7
8	2.5 T-NOTE 230815	債券	アメリカ	国債	0.7
9	2.875 T-NOTE 280515	債券	アメリカ	国債	0.7
10	2.875 T-NOTE 250430	債券	アメリカ	国債	0.7

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

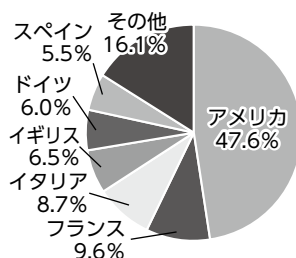
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

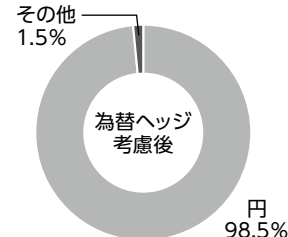
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信